

令和3年度とちぎ6次産業化実践セミナー
第5回講座実施状況について

【日 程】 令和3(2021)年11月2日(火)、午後
【会 場】 とちぎアグリプラザ
【参加者】 9名
【テーマ、講師、講義概要】

< SNSやクラウドファンディングの有効活用 >

6次産業化中央プランナー

株式会社JEM 代表取締役副社長 浅沼ゆうか 氏

○クラウドファンディングを活用すると資金調達の幅を広げられる。

起案者側のメリットは、不特定多数から資金調達が可能、返済義務なし、実績や信用力は必要ない、テストマーケティングできる、ファンが作れる。

デメリットは、責任を伴う、アイデアが盗まれる可能性がある、資金調達に成功する保証はない。

○事業のPRには、インスタグラムの活用が有効。公式アカウント運用のメリット、写真の撮り方、投稿の頻度、検索されやすいハッシュタグの付け方等の説明があった。SNSは、クラウドファンディングを実施していることの告知にも活用できる。



< ソーシャルベンチャーとしての6次産業化 >

NIPPA米 田中 潔 氏

NIPPA米や日本酒「新波」で、世間から注目を集め、出身者が地元に戻ってきてもいいかと思わせるための活動。自分が死んだ後も残る商品作りたい。土地の価値を上げ、地元を誇りを取り戻し、豊かな暮らしをするため。

NIPPA米のコンセプトは、有機の米、テロワール、文化・風習の発信、農業のエンターテインメント化、オシャレ感。

日本酒「新波」に持たせた機能は、農家企画の酒、全量買い取り販売、土地の名前を付け地酒、美味しいと言われる味、米を収穫した土地とその年の米の味を表現すること。

